



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社テクノスマート  
コード番号 6246 URL <https://www.technosmart.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳井 正巳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括 (氏名) 飯田 陽弘

TEL 06-6253-7200

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,716	92.7	1,261	376.2	1,284	332.3	877	345.3
2022年3月期第2四半期	5,562	38.4	265	△41.4	297	△37.9	197	△21.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	71.36	—
2022年3月期第2四半期	15.89	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,741		17,945			58.4
2022年3月期	29,316		17,405			59.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 17,945百万円 2022年3月期 17,405百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
2023年3月期	—	19.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	39.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 特別配当15円00銭

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	12.2	1,840	12.0	1,890	11.7	1,300	11.7	105.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	12,401,720 株	2022年3月期	12,401,720 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	106,828 株	2022年3月期	106,797 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	12,294,898 株	2022年3月期2Q	12,394,972 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第2四半期累計期間) .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
3. 補足情報 .....	9
最終製品別売上高、受注高、受注残高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①経済情勢及び業界の状況

当第2四半期累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向にあるものの、収束にはまだ時間がかかるものと思われれます。日本政府はこれまでG7の中で日本だけが入国制限を続けていましたが、今年の10月から海外からの入国者数の上限を撤廃したことで、今後はwithコロナとした経済の回復が加速されるものと期待されます。

ウクライナ情勢は欧米対ロシアによる消耗戦となっており、解決策の見いだせないまま長期化していることから、世界的なエネルギー不足・食糧不足・物価の高騰を引き起こしています。

米国では、過去最大規模の気候変動対策を盛り込んだインフレ抑制法案 (IRA) が今年の8月に可決され、産業界においては中国・ロシアなど政治的に対立する国を排除する動きが強く、今後こうした対立が更にエスカレートする懸念もあり先行きは不透明です。

このような状況下において、当社は大きな成長が見込まれる車載用リチウムイオン二次電池の電極用、セパレータ用及び燃料電池用塗工乾燥装置、液晶テレビやスマートフォン、タブレット端末用の光学フィルム、タッチパネル用塗工乾燥装置及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。

## ②売上及び損益の状況

売上高は10,716百万円(前年同期比92.7%増)となりました。主な最終製品別売上高は、ディスプレイ部品関連機器が3,714百万円(前年同期比353.6%増)、機能性紙・フィルム関連塗工機器が3,902百万円(前年同期比95.9%増)、電子部品関連塗工機器が220百万円(前年同期比81.7%減)、エネルギー関連機器が2,506百万円(前年同期比117.2%増)となりました。売上高に占める輸出の割合は90.8%(前年同期は58.1%)となりました。売上総利益は1,675百万円(前年同期比148.2%増)、売上総利益率は15.6%(前年同期は12.1%)となりました。販売費及び一般管理費は413百万円(前年同期比0.8%増)となりました。営業利益は1,261百万円(前年同期比376.2%増)、経常利益は1,284百万円(前年同期比332.3%増)、四半期純利益は877百万円(前年同期比345.3%増)となりました。

## ③受注の概況

受注高は10,440百万円(前年同期比39.5%減)、その内輸出受注高は9,114百万円(前年同期比42.9%減)となり、受注高に占める輸出の割合は87.3%(前年同期は92.6%)となりました。受注残高は24,187百万円(前年同期比8.7%減)、その内輸出受注残高は18,011百万円(前年同期比26.1%減)となり、受注残高に占める輸出の割合は74.5%(前年同期は92.1%)となりました。

当社と取引の多い中国では依然としてゼロコロナ政策をとっており、中国への出向については手続きのやや簡素化や隔離期間の短縮など幾分緩和されていますが、地域によってはロックダウンが実施されており、コロナ以前の状況に戻るにはまだ時間がかかるものと思われれます。

今年の春先から顕著になった電気部品の長納期化が依然として続いており、改善の兆しもなく先行きは不透明な状況となっています。電気部品納期が製作工程上のボトルネックとなっており、このため受注納期が大幅に延びてしまうことで受注活動に大きな影響が出ています。

このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、次世代5G向け先端材料や全固体電池などへの取り組みも積極的に行ってまいります。

（2）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

総資産は30,741百万円(前期末比4.9%増)となりました。これは主に現金及び預金の増加及び売上債権の減少によるものです。負債は12,795百万円(前期末比7.4%増)となりました。これは主に前受金の増加によるものです。純資産は17,945百万円(前期末比3.1%増)となりました。自己資本比率は58.4%(前期末は59.4%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ3,024百万円増加し13,563百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,355百万円（前年同期は使用した資金13百万円）となりました。これは主に税引前四半期純利益の増加及び売上債権の回収によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は25百万円（前年同期は使用した資金392百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は305百万円（前年同期は使用した資金176百万円）となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、2022年5月13日に発表しました2022年3月期決算短信における2023年3月期業績予想値で、変更はありません。

なお、業績予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しており、当社の販売する設備は全て受注生産のため、実際の業績は受注時期及び納期など今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,638,638	13,663,218
受取手形、売掛金及び契約資産	9,966,487	9,645,467
電子記録債権	1,111,655	248,512
仕掛品	486,130	459,216
原材料及び貯蔵品	66,122	88,790
未収消費税等	549,677	-
その他	392,637	607,420
貸倒引当金	△6,831	△6,831
流動資産合計	23,204,518	24,705,793
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,277,018	2,218,752
機械及び装置（純額）	113,385	101,043
土地	2,001,209	2,001,209
その他（純額）	117,244	100,358
有形固定資産合計	4,508,858	4,421,364
無形固定資産	11,512	46,321
投資その他の資産		
投資有価証券	1,238,440	1,194,868
その他	353,140	373,159
投資その他の資産合計	1,591,581	1,568,028
固定資産合計	6,111,952	6,035,714
資産合計	29,316,470	30,741,507
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,435,268	1,649,917
電子記録債務	5,625,175	6,024,064
未払法人税等	484,310	434,511
前受金	1,597,385	2,913,274
賞与引当金	174,217	187,332
役員賞与引当金	64,536	54,398
その他	182,636	149,773
流動負債合計	10,563,531	11,413,272
固定負債		
退職給付引当金	857,599	892,671
資産除去債務	6,412	6,412
その他	483,283	483,283
固定負債合計	1,347,295	1,382,366
負債合計	11,910,826	12,795,639

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,953,930	1,953,930
資本剰余金	1,683,457	1,683,457
利益剰余金	12,383,696	12,953,695
自己株式	△141,264	△141,307
株主資本合計	15,879,819	16,449,775
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	423,997	390,760
繰延ヘッジ損益	4,719	8,225
土地再評価差額金	1,097,107	1,097,107
評価・換算差額等合計	1,525,824	1,496,093
純資産合計	17,405,644	17,945,868
負債純資産合計	29,316,470	30,741,507

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,562,184	10,716,246
売上原価	4,886,973	9,040,703
売上総利益	675,210	1,675,543
販売費及び一般管理費	410,205	413,567
営業利益	265,005	1,261,976
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	19,445	25,873
助成金収入	13,128	780
その他	6,847	6,532
営業外収益合計	39,435	33,202
営業外費用		
支払利息	236	256
支払保証料	6,453	8,612
その他	578	1,755
営業外費用合計	7,268	10,624
経常利益	297,172	1,284,554
特別利益		
固定資産売却益	-	99
特別利益合計	-	99
特別損失		
固定資産除却損	0	-
工場建替関連費用	3,155	-
特別損失合計	3,155	-
税引前四半期純利益	294,017	1,284,653
法人税等	97,003	407,281
四半期純利益	197,013	877,371



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	294,017	1,284,653
減価償却費	77,493	88,722
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15,913	-
受取利息及び受取配当金	△19,460	△25,889
支払利息	236	256
工場建替関連費用	3,155	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,398,331	1,184,162
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△146,753	4,247
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,459,745	△738,462
前受金の増減額 (△は減少)	626,616	1,315,888
その他	△95,945	676,360
小計	△215,140	3,789,940
利息及び配当金の受取額	19,460	25,889
利息の支払額	△236	△256
法人税等の支払額	△20,030	△459,812
法人税等の還付額	205,220	-
工場建替関連費用の支払額	△2,521	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,248	3,355,761
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△383,267	△11,659
有形固定資産の売却による収入	-	99
投資有価証券の取得による支出	△720	△755
無形固定資産の取得による支出	-	△9,000
その他	△8,467	△4,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△392,455	△25,447
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△2,956	-
配当金の支払額	△173,874	△305,777
自己株式の取得による支出	-	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,830	△305,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	87
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△582,533	3,024,580
現金及び現金同等物の期首残高	10,361,183	10,538,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,778,650	13,563,218

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## 3. 補足情報

最終製品別売上高、受注高、受注残高

(単位：千円、%)

最終製品	前第2四半期 自2021年4月1日 至2021年9月30日		当第2四半期 自2022年4月1日 至2022年9月30日		(参考) 自2021年4月1日 至2022年3月31日		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	ディスプレイ部品 関連機器	818,830	14.7	3,714,223	34.7	5,227,454	30.9
	機能性紙・フィルム 関連塗工機器	1,992,002	35.8	3,902,950	36.4	6,690,086	39.5
	電子部品 関連塗工機器	1,206,285	21.7	220,607	2.1	1,666,478	9.8
	エネルギー関連機器	1,153,934	20.7	2,506,366	23.4	2,565,259	15.1
	化工機器	6,196	0.1	22,000	0.2	6,196	0.1
	その他	384,935	7.0	350,099	3.2	783,767	4.6
	計	5,562,184	100.0	10,716,246	100.0	16,939,242	100.0
内輸出高	3,233,716	58.1	9,725,550	90.8	12,867,066	76.0	
受注高	ディスプレイ部品 関連機器	10,317,077	59.8	4,162,088	39.9	12,109,577	45.5
	機能性紙・フィルム 関連塗工機器	1,292,598	7.5	2,516,667	24.1	4,011,211	15.1
	電子部品 関連塗工機器	892,630	5.2	1,315,000	12.6	2,000,410	7.5
	エネルギー関連機器	4,335,412	25.1	1,977,780	18.9	6,716,672	25.2
	化工機器	—	—	—	—	22,000	0.1
	その他	405,188	2.4	468,488	4.5	1,743,978	6.6
	計	17,242,906	100.0	10,440,024	100.0	26,603,849	100.0
内輸出高	15,965,510	92.6	9,114,529	87.3	19,835,376	74.6	
受注残高	ディスプレイ部品 関連機器	10,535,946	39.8	8,367,687	34.6	7,919,822	32.4
	機能性紙・フィルム 関連塗工機器	9,494,985	35.9	6,129,230	25.3	7,515,514	30.7
	電子部品 関連塗工機器	1,185,997	4.5	2,927,977	12.1	1,833,585	7.5
	エネルギー関連機器	5,002,362	18.9	5,443,710	22.5	5,972,297	24.4
	化工機器	—	—	—	—	22,000	0.1
	その他	260,810	0.9	1,319,157	5.5	1,200,768	4.9
	計	26,480,102	100.0	24,187,764	100.0	24,463,987	100.0
内輸出高	24,385,957	92.1	18,011,453	74.5	18,622,474	76.1	